



人権について学びを深めた12月

12月は、全校人権集会や人権授業、いじめ予防教室などを通して、人権について考える学習を深めた一か月となりました。

12月6日(金)の参観授業では、全校一斉に人権授業を行い、各学年で人権に関わるさまざまなテーマについて学びました。子どもたちは、身近な出来事や生活と結び付けながら、人との関わり方や考え方について、じっくりと向き合う時間をもちました。

また、育友会全体会では、先日5・6年生で実施したスクールロイヤー(弁護士)による「いじめ予防教室」にふれ、私からもいじめに関するお話をさせていただきました。

最新の調査によると、小・中学校の9年間で「いじめをしたことがある」と答えた子どもも、「いじめをされたことがある」と答えた子どもも、いずれも9割近くにのぼることが分かっています。これは、自分の子どもが被害者にも加害者にもなりうる現実を示しています。

現在起こっている多くのいじめは、加害者側にとっては「ただ、いじっただけ」「そんなつもりじゃなかった」と、軽く受け止められている場合が少なくありません。そこで、保護者の皆様と共有したいこととして、二つの点をお伝えしました。

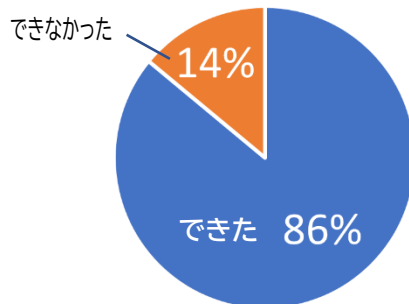
一つ目は、いじめは一つひとつを見ると些細に思える行為であっても、コップに水が一滴ずつ溜まっていくように、やがてはあふれ出すほどの大きな苦しみになるということです。

二つ目は、そのコップの形や大きさは、他人からは見えず、本人でさえ気づきにくいということです。

だからこそ、相手の気持ちを想像し、思い込みにとらわれずに関わるのが大切であることをお話ししました。

今後も、保護者の皆様と「協働」しながら、いじめの未然防止や早期発見・解決に向けた取組を進めてまいります。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

自分がされて嫌なことは人にはしないようにします

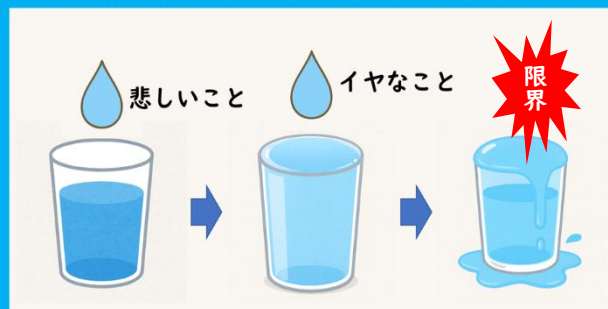


2学期の生活を振り返り、「自分がされて嫌なことは、人にはしない」という約束について、全校児童アンケートを行いました。結果は「できた」86%、「できなかった」14%でした。

子どもたちからは、「できた人が86%もいて、けっこうよかったと思う」という声がある一方で、「できなかった人が少しでもいると、その人がいろんな人を傷つけてしまうかもしれない」という意見も出されました。

一人一人が自分の言動を見つめ直す大切さを、みんなで考える機会となりました。

たとえば、友だち関係について



たとえば、友だち関係について

コップの形や大きさは人それぞれで、どれだけ水が入るか、他人も自分もわからない



12月1日 絵本×浪曲スペシャル公演

1～4年生を対象に、表現活動を応援するアウトリーチとして、絵本作家の飯野和好先生、浪曲師の玉川太福さん、曲師の玉川みね子さんをお招きし、絵本の読み聞かせと浪曲の公演を鑑賞しました。

まずは、『ねぎぼうずのあさたろう』シリーズの作者である飯野和好先生のご登場です。飯野先生は、あさたろうさながらの回し合羽に三度笠、腰には刀を差し、カンカラ三味線を奏でながら、浪曲調の語り口で絵本の世界へと誘っていただきました。

『ねぎぼうずのあさたろう』のほか、『くろずみ小太郎旅日記』『妖怪図鑑』『おならうた』も披露してくださり、ユーモアあふれる語りに子どもたちは大いに盛り上がりしました。

『ねぎぼうずのあさたろう』のほか、『くろずみ小太郎旅日記』『妖怪図鑑』『おならうた』も披露してくださり、ユーモアあふれる語りに子どもたちは大いに盛り上がりしました。

続いて、浪曲師の玉川太福さんと曲師の玉川みね子さんによる浪曲の時間です。

はじめに、「何が何して何とやら」という七五調のフレーズを使いながら、三味線の音色に合わせて、浪曲ならではの節回しの仕組みや、音色によって雰囲気が変わることわかりやすく説明していただきました。語りの抑揚や三味線の響きによって場面が立ち上がる様子に、子どもたちは興味深そうに耳を傾けていました。

途中では、拍子木を子どもたちにも鳴らさせてもらい、会場には心地よいリズムが広がりました。

最後は、新作浪曲『地べたの二人 おかず交換』を鑑賞しました。二人の男が地べたに座ってお弁当のおかずを交換する——ただそれだけの情景が、語りと三味線によっておもしろくふくらみ、ところどころで笑いが起こっていました。浪曲の魅力を存分に味わえる、楽しいひとときとなりました。



12月5日 校内持久走大会

子どもたちは、「順位」「記録」「完走」の三つのチャレンジ部門から自分で目標を選び、その達成をめざして力いっぱい走りました。どの学年の子どもたちも、これまでの練習の成果を発揮しようと真剣な表情でスタートラインに立ち、最後まであきらめない走りを見せてくれました。



そのがんばりが実を結び、**大会新記録が生まれた学年もありました。**前を走る友だちの背中を追いかけることで力が湧いてきたり、後ろで懸命に走る友だちの気配を感じて「自分もがんばろう」と踏ん張れたりするなど、**互いの存在を力に変える“協同”の姿が、この持久走大会でも見られました。**

見守ってくださった地域の方からは、「子どもたちが一生懸命走っている姿が見られてうれしかったです」との温かい声もいただきました。また、道路使用に伴う交通整理では、育友会育成サポート部の皆様にご協力いただきました。さらに、地域の皆様には車の迂回にご理解いただき、安全に大会を実施することができました。心よりお礼申し上げます。沿道でご声援を送ってくださった保護者の皆様、地域の皆様に重ねて感謝申し上げます。

アクセス数 10万件突破!

学校ホームページのアクセス数が4月からの累計で10万件を超えました。多くの皆様にご覧いただいていることを、大変うれしく思います。学校での出来事を話題にいただき、家庭や地域で子どもたちの姿を共有していただいていることが、子どもたちにとっても大きな励みであり、私たち教職員にとっても日々の支えとなっております。

こうした温かなつながりの中で、子どもたちが安心して学校生活を送ることができていることに、心より感謝申し上げます。これからも、学校の今をタイムリーにお届けしていきます。

明日は2学期の終業式を迎えます。

2学期も本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。どうぞよい新年をお迎えください。